

The Hadano Tobacco Festival: Honoring Tradition While Evolving with the Times

伝統を受け継ぎ、
進化する 秦野たばこ祭

かつて、日本三大銘葉の一つに挙げられた「秦野葉」の産地だった秦野市。

「秦野たばこ祭」は、先人たちの葉タバコ栽培が秦野市の礎となり、耕作者の努力が市の発展を支えてきたことを伝えるものです。今では、秦野市最大規模の祭りとして多くの人に親しまれ、市民参加型の祭りとして進化を続けながら、先人たちの情熱を受け継いでいます。

市内最大の観光イベントとして毎年9月第4土・日曜日に開催しています！



第1回たばこ祭

始まり

A Citizens' Festival Born from Postwar Reconstruction
戦後復興から生まれた市民の祭り

昭和23年（1948年）、戦後の不況と葉タバコ耕作の衰退という厳しい状況の中、地域の活力を取り戻すため、煙草耕作者組合の主催により、葉タバコ耕作者の慰労と地域振興を目的として『たばこ祭』は始まりました。記念行事として企画された慰安会が発端となり、歌舞伎劇や民謡踊りなど、素朴ながらも地域の思いが詰まった催しでした。

変化の時

Toward Becoming the City's Signature Festival
市を代表する祭りへ

昭和32年（1957年）からは市の主催となり、家族連れや若者向けの企画も加わって、幅広い世代が楽しめる祭りへと発展。昭和50年代には歩行者天国が導入され、市街地全体が大きなにぎわいを見せました。

第3回（昭和25年）には、現在も残る「秦野たばこ音頭」が誕生します。



「たばこ娘のコンテスト」当時の様子
このコンテストは後に、「ミスたばこ」に発展しました。

現代へ

The End of Cultivation and the Culture Carried into the Present
耕作の終焉と現代へ受け継がれる文化

昭和59年（1984年）に葉タバコ耕作が終焉を迎えた後も、「たばこ祭」は地域の誇りとして市民の手で進化を遂げてきました。昭和61年（1986年）には、検討委員会からの報告などを受け、「見る」祭りから「参加する」祭りへと発展。「火」をテーマにした「ジャンボ火起こし綱引きコンテスト」やフロートパレードなど、多彩な催しが誕生しました。たばこ祭は、現在もより華やかに、市民参加型の祭典として発展を続けています。

The History of Tobacco Leaf Cultivation

3月中旬に種を蒔き、7月から8月にかけて収穫されていました。

～葉タバコ耕作の歴史～

宝永4年（1707年）の「富士山宝永大噴火」の降灰による田畑の壊滅的な被害から、不屈の精神で復旧を成し遂げた先人たちは、その後、葉タバコの栽培に新たな活路を見出し、後に日本三大銘葉の産地の一つとたたえられるまでの見事な復興を果たしました。

「秦野煙草は技術で作る」といわれるなど、その優れた耕作技術は高く評価され、全国の耕作者が技術を学ぶために秦野を訪れるとともに、耕作指導員が他県の耕作地へ指導に赴き、秦野の技術を全国に広めました。また、葉タバコは連作ができないため、代わりに栽培された菜種や落花生の加工業、加工器具の製造・修理業、肥料商などの関連産業が生まれ、葉タバコの売買や製造とともに、まち全体の繁栄につながりました。

このような背景のもと、秦野市の礎を築き、産業の中心として、まちの発展に大きく貢献してきた「葉タバコ耕作」は、昭和59年（1984年）に300年余の長い歴史に幕を閉じました。しかし、その技術革新の精神は、カーネーション栽培をはじめとした農業や本市の産業を支えるものづくりに継承され、先人たちが注いだ情熱は、秦野市最大のイベントであるたばこ祭により、今なお、秦野市民の心に受け継がれています。



当時栽培されていた秦野葉

ジャンボ火起こし綱引きコンテスト



たばこ音頭パレード



らんたん巡行



打上花火



Festivals and Events that Brighten Hadano

秦野を彩る
祭りイベント

四季折々の自然とともに、市民の手で育まれてきた秦野の祭りイベント。春の「秦野丹沢まつり」や秋の「秦野たばこ祭」など、地域の魅力が集まる催しが一年を通して開催され、伝統と市民の熱気が融合する祭りは、訪れる人々に、にぎわいと温かさを届けています。自然、文化、そして人とのつながりが息づく、秦野ならではの催しの数々をご紹介します。



はだの丹沢水無川マラソン大会



ピースキャンドルナイト



秦野市市民の日

はだの桜まつり

カルチャーパークと弘法山公園を会場として、キッチンカーの出店などが行われます。水無川沿いでは、夕暮れから桜のライトアップが行われ、多くの来場者を魅了します。

秦野丹沢まつり

春の訪れを告げるお祭りです。県立秦野戸川公園会場では、山開き式、市立西中学校会場では、ステージや山開きパレードなど、華やかな催しが続きます。

ピースキャンドルナイト

平和や命の大切さを考え、共に語り合う機会として、市民手作りのキャンドルに、市役所の「平和の灯モニュメント」から採火した「平和の灯」ともします。

秦野市市民の日

手作り品や農産物などを販売する市民祭りです。さまざまな団体のテントが並び、多くの方が訪れます。

Annual Event Calendar

年間イベントカレンダー

1月	ニューイヤーウォーク 消防出初式
2月	節分祭 初午祭
3月	はだの桜まつり
4月	秦野丹沢まつり 鶴巻温泉春まつり
5月	子どもまつり 秦野市商工まつり
6月	丹沢ボッカ駅伝競争大会
7月	河川浄化月間・ 環境ウォーク
8月	ピースキャンドルナイト うりうりのひやくはつたい 瓜生野百八松明
9月	秦野たばこ祭
10月	秦野戸川公園まつり おおね秋祭り
11月	秦野市市民の日 実朝まつり
12月	はだの丹沢水無川マラソン大会 ライトアップ・ イルミネーション (さかえちよう公園、県立秦野戸川公園)

他にも収穫体験など、多くのイベントを開催しています。



はだの桜まつり(弘法山公園・権現山)



秦野丹沢まつり(アルプホルンの演奏)



はだの桜まつり(水無川沿いの桜のライトアップ)



秦野丹沢まつり(西中学校会場のステージ)



秦野市商工まつり



子どもまつり

A Hub Weaving Together History and Culture

歴史と文化を紡ぐ拠点

市内には、古墳時代の二子塚古墳や鎌倉時代の御首塚、戦前の商家建築など、時代を超えて受け継がれてきた文化財が点在しています。歴史・信仰・暮らしを映し出す数々の遺構は、何気ない風景の中に今も息づいています。まちの身近な場所の“時を超えた記憶”を、文化財から感じてみませんか。

有形文化財

県指定文化財

秦野市平沢同明遺跡
出土の弥生前期壺形土器

伊勢地方で作られた可能性が高く、南関東地方における農耕文化の伝播を示す貴重な資料です。



県指定文化財

木造薬師如来立像
東光寺

鎌倉時代に、一日で造って供養した「一日造立仏」と考えられる作例で、背面に「建長8年3月8日」の銘があります。



国登録文化財

五十嵐商店店舗兼主屋

関東大震災により多くの建物を焼失した四ツ角周辺では、復興の象徴として、耐火性を意識した西洋古典様式やアールデコ様式などの影響を受けた建物が多く建築されました。その代表的な建築の一つです。現在は、1階でカフェが営まれており、レトロな雰囲気の中でコーヒーなどを楽しむことができます。



市指定文化財

戸川原の双体道祖神

寛文9年（1669年）に造立された市内で最も古い道祖神です。像は舟形にかたどった石に僧形の双体像が彫られています。



市指定文化財

瓜生野百八松明

南矢名の瓜生野地区に古くから伝わる、五穀豊穡や悪疫退散を祈願して火のついた松明を勢いよく振り回す行事です。毎年8月14日に行われています。

民俗文化財

記念物

国登録記念物

震生湖

大正12年（1923年）9月1日の関東大地震が引き起こした地滑りによって、土砂がせき止められて誕生した湖です。震災から100年以上経過しても「湖面」「崩落地」「堰止地」を確認することができ、地震の規模の大きさを伝える貴重な遺構です。



県指定天然記念物

鶴巻の大ケヤキ

昭和28年（1953年）に県指定天然記念物に指定された、推定樹齢600年以上の巨木です。地域では、「大工ノキ」として親しまれ、豊作や暮らしの守り木として大切にされてきました。



市指定史跡

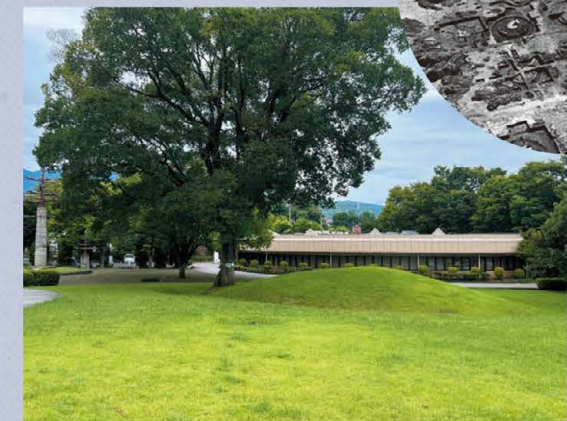
源実朝公御首塚

鎌倉幕府3代将軍源実朝が建保7年（1219年）に暗殺された際、三浦氏の家来である武常晴が実朝の首を得て、この地に埋葬したという伝承があります。当初の五輪塔は木造でしたが、波多野忠綱が金剛寺を再建した際に石造に替えたと言われています。



はだの歴史博物館（桜土手古墳公園）

秦野市の歴史と文化に触れられる考古専門施設として親しまれてきた「桜土手古墳展示館」を前身とし、令和2年（2020年）にリニューアルしました。博物館が位置する桜土手古墳公園は、7世紀を中心に、6世紀終わりから8世紀始めに築かれた35基の円墳から成る古墳群のうち6基を保存しており、「かながわの公園50選」「かながわの博物館50選」にも選定された、多くの人に親しまれる学びと憩いの場です。



はだの歴史博物館と桜土手古墳公園



史跡



詳しい情報は市HPへ